

平成 18 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 スカイマーク エアラインズ株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 西久保 慎一  
(コード番号 9204 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経理本部長 有森 正和  
(TEL 03-5402-6767)

## 機体構造部材の修理期限超過について

弊社は、平成 18 年 3 月 9 日 16:30 に弊社使用機材 Boeing767-300 型機 (JA767E) の機体構造部材の一部が修理期限を超過していることを確認し、直ちに運航を休止させ、修復を行ったことについて以下のとおりご報告します。

あわせて、平成 18 年 3 月 13 日までに当該機の修復は完了し、平成 18 年 3 月 14 日以降の運航につきましては通常とおり運航いたしますのでお知らせいたします。

### 記

1 . 対象機材 Boeing767-300 型機 (JA767E)

2 . 経緯

2004 年 11 月の当該機材引渡しに先立ち、機体所有者の指示により整備受託会社が機体構造部材に対して一年間の期限付き修理を実施致しました。この間にメーカーから恒久的措置の指示がある予定でしたが、この指示が所有者である航空会社の受託整備会社のみ連絡されたため、使用者であるスカイマークは恒久的処置必要性の理解はありましたが、12 ヶ月の期限内での適切な対応が出来ておりませんでした。今般、弊社業務精査の実施点検中、かかる状況が判明し、メーカーに事実確認を行い、恒久的処置方法の指示を仰ぎました。この時点では運航の安全自体には問題はありませんでしたが、航空機の運航を停止し、恒久的措置の検討に入り、その結果 34 便の欠航及び運休となりました。事実確認後の判断と処置は適切であり、現在、航空機は修理完了し、安全に運航できる状態となっております。更に今後再発防止のための高度な情報管理を現在構築中であります。

以上の経緯のとおり、事実が判明した時点で、安全確保のため、速やかに運航停止の措置をとり適切な整備処置をいたしました但し利用者の皆様にご不安をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

以 上